

「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」(案)
についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」(案)の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和5年7月3日から令和5年8月3日まで

2 募集方法

市のホームページ (<https://www.city.goshogawara.lg.jp/>) に案の概要等を掲載したほか、市教育委員会教育総務課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所(法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先)の明記を条件としました。

3 提出された意見

1人の方から延べ1件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	0件	0件	2件	2件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

区分	提出された意見	市の考え方
1	<p>私達地域の保護者代表として、大切な要望を伝えさせて頂きます。この度、地域の小学校併合に関する賛成の声が多数あることをお知らせいたします。地域の小学校併合について、私達PTAで聴き取り調査の結果、全体の8割以上の保護者が併合に賛成していることが明らかになりました。この結果からも、保護者達が併合に対して積極的な意見を持っていることが分かります。私たちPTA役員だけでは、併合計画の策定や円滑な協議の進行が難しいので五所川原市中心でお願いできたらと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。保護者の方々が聴き取り調査を行われているとのこと、学校再編が保護者の方々にとって非常に関心が高い課題であることを改めて確認できたところです。</p> <p>市教育委員会では、「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」策定後、同計画の基準、再編方針に基づき、優先検討校を決定し、優先検討校となった学校の保護者、地域住民の方々へ説明、協議を行っていくこととしております。</p> <p>学校再編に係る個別計画の策定、保護者や地域住民の方々への説明は、市教育委員会が中心となって行って参りますので、よろしく願いいたします。</p>
2	<p>ようやくこのような計画を五所川原市教育委員会が策定したことに敬意を表します。但し、遅すぎた感じを受けているのは、私ばかりではないはずです。</p> <p>私が仕事の関係で五所川原市に移り住んだ平成14年、4月に着任した頃には東京ドームが満員になる程度(56,000人)だったと記憶しております。現在は50,000人ほど、約10年間で6,000人が減少していることになるでしょう。昨今の少子化の状況からすれば、ここから加速的に少子高齢化が進むことが、予想できると考えます。昨年度の出生数から考えても幼稚園・保育所・認定こども園が26園も必要ではなくなるのが容易に考えられ、すべてが公立ではないことから、自然淘汰しかないかと考えられるのが現状だと思います。</p> <p>生まれてくる数が減少している中で、計画の趣旨や策定の背景は理解できますが、対象と期間を定めていないことに疑</p>	<p>貴重なご意見、また具体的、細部に渡ってのご指摘、誠にありがとうございます。</p> <p>五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画(案)(以下「基本計画(案)」という。)では、小学校、中学校ごとに再編検討校となる学校、再編検討校の統合先(受け入れ先)となる学校、現時点では再編対象外とする学校といった内容で再編方針を定めております。</p> <p>ご指摘のとおり、具体的な再編時期までは記載しておりませんが、こちらも基本計画(案)に記載しておりますとおり、優先検討の判断基準を設け、まずは複式学級を有する学校を優先検討校とし、次位の優先項目として児童生徒数(将来見込みを含む。)が少ない学校から順次、検討することとしております。</p> <p>ご提言のとおり、地域の人口減少は今後、加速度を増していくことが推測され、児童生徒の教育環境の維持整備は喫緊か</p>

<p>2</p>	<p>間を感じます。</p> <p>今の現住所で児童生徒数の推移を予想している状況の中、学区のしほりをゆるめてしまえば、この予測自体が絵に描いた餅になりかねません。小学校はクラブ化が進み、そこまでクラブ活動等での学区外通学はないかもしれませんが、中学校は、やりたい部活動の為に学区外通学を認めてしまえば、予測しておられる生徒数を維持することが困難になり、生徒数の偏りが進んでしまうことにもなるでしょう。そのようなことから考えても、今の現状で学区を住所地で維持し、保護者の側から学区再編の動きが出やすくなるような働きかけも必要になるのではないのでしょうか。現状で一桁の児童数になっている学年が多くなっている小学校は優先的に他校と一緒に働くよう働きかけ、集団活動を担保できるような働きかけが必要ではないかと考えます。</p> <p>通学距離よりもスクールバス等を活用し、通学時間を考えれば、市浦や金木も単独で考える必要はないようにも思えます。</p> <p>現在の小1が中3になる頃には、中学校が市内で1校でも、大丈夫になるのではないのでしょうか。五一中が900名を超えていた時期があった事を考えれば、そのような大胆な発想も必要になるのではないかと考えます。</p> <p>このまま少子化が進めば、適正な学級数を維持する為に、通学距離を守れば、適正規模や適性配置は出来なくなることが予想されるので、既存の学区を再編し、スクールバスを活用し、1時間以内の移動時間を優先して進めていくのが妥当ではないかと考えます。</p> <p>多額の経費がかかることになるので、</p>	<p>つ継続的な課題となっております。</p> <p>その一方で、小学校、中学校は防災・保育・地域の交流の場であり、街づくり・地域コミュニティに密接に関連していることを踏まえ、また、地域の実情や地理的条件なども考慮し、児童生徒の保護者、就学前の子どもの保護者、地域住民の方々の声を尊重するなど多角的・総合的に検討するため、相応の期間も必要になると考えております。</p> <p>本市における人口減少、少子化の進行が今後も想定される中、学校再編は持続的、継続的に取り組むべき課題であることから、市教育委員会では、基本計画（案）の期間を敢えて定めることはせず、時宜に応じた改訂等を行うことで恒常的な計画とし、学校再編事業を不断の取組としていくこととしておりますので、当教育委員会の今後の取組について、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
----------	--	--

2	<p>既存の校舎に拘ることも分かりますが、移転新築し、適正規模の小中学校を再配置し直すことを考えることも必要になってくるのではないかと考えます。</p> <p>五所川原市立の小中学校なので、保護者の意見も大切かもしれませんが、もっと大胆に迅速に計画を進めていかれることを期待申し上げます。</p>	
---	--	--